

「単価転記エクセル」の使い方

Ver 5.6

取 扱 説 明 書

「単価転記エクセル」の使い方

(取扱説明書)

目 次

●ソフトウェアについて

1. 1行タイプサンプル見積書(1ga.xlsx)を開く
2. 本ソフトウェア(tankatenki.xlsm又はtankatenki-s.xlsm)を開く
3. サンプル書式データ 1a.txt を開く
4. 書式データの入力
5. シート名取得
6. シート選択
7. 単価表の自動作成
8. 単価入力
9. 単価の自動転記
10. 単価転記後の内訳書
11. その他のサンプル見積書について
12. プログラムの機能と開発動機
13. 使用に当たっての注意事項 (エラー回避等)
14. 免責事項

【フリーソフト版のダウンロードファイル一式】

- | | |
|---|----|
| 1. フリーソフト版 (tankatenki.xlsm) | 1個 |
| 2. サンプル見積書(1ga.xlsx,1gb.xlsx,2g.xlsx,3g.xlsx) | 4個 |
| 3. サンプル設定表(1a.txt,1b.txt,2txt,3txt) | 4個 |
| 4. サンプル単価表(1a.xlsx,1b.xlsx,2.xlsx,3.xlsx) | 4個 |
| 5. 「単価転記エクセル」の使い方 | 1個 |
| 6. Readme.txt | 1個 |

【シェアウェア版のダウンロードファイル一式】

上記2～5+下記2個)

- | | |
|---|----|
| 1. シェアウェア版 (tankatenki-s.xlsm 要ライセンスキー) | 1個 |
| 2. Readme-s.txt | 1個 |

*本ソフトは内訳書の3種類の様式(1行タイプ、2行タイプ、3行タイプ)に対応しています。

**Excelおよび各バージョン、VBA、Windowsなどは、米国Microsoft社の登録商標です。

●ソフトウェアについて

本ソフトウェアは入札等の目的で、外部から入手したエクセルブック形式の内訳書を対象に、単価の入力作業の効率化を図るための支援ソフトです。

多様な内訳書様式を扱えるようプログラムを構築し、単価の転記処理をマクロで瞬時に
行うエクセルブック形式のVBAソフトです。

内訳書の先頭に単価表シートと作業シートを自動で追加し、内訳書の単価項目を拾い
出して単価表へ自動的にリストアップします。その際、重複項目は削除されます。

作成された単価表の右側余白は見積作業スペースとして、様々な方法での単価計算
や、単価の設定根拠を記録する等、使用者が自由に活用できるメリットがあります。

客先へは追加した単価表シートと作業シートを削除するだけで提出できます。

このように単純なソフトですが、内訳書への計算式一括設定や、ワンクリック全額集計
等の機能も備え、見積作業の時間短縮に威力を発揮するツールです。

フリーソフト版は見積書のシート数がmax18と制限があり、マクロは非表示です。

シェアウェア版はシート数がmax200で、マクロ編集や加工・他ソフトへの転用も可能です。

シェアウェア版はライセンスキーの購入が必要です。(Vector公開済み 単価 税込み 1,430円)

取扱説明書での使用ファイル

- ①本ソフト tankatenki.xlsm 又は tankatenki-s.xlsm
- ②サンプル 1ga.xlsx 1行タイプの見積書(単価欄空白)
- ③サンプル書式データ 1a.txt (メモ帳 数値等16項目)
- ④サンプル単価表 1a.xlsx (参考単価)

使用手順	ページ
1. 1行タイプサンプル 1ga.xlsx を開く すぐに右上の最小化ボタン「-」で最小化する。	P2
2. 本ソフト(tankatenki, (-s) .xlsm)を開く	P3
3. サンプル書式データ 1a.txt を開く	P3
4. サンプル書式データ(16個)を 処理画面の指定セルへ手入力する。	P4
5. 「1-シート名取得」を実行する 17シート(15シート+2シート追加)	P4
6. シート名の右側セルをダブルクリック 対象シートを選択する(○印付与)	P5
7. 「2-単価表作成」を実行する(約1分) 単価表が作成されたら、保存し閉じる	P6
8. サンプル単価 1a.xlsx を開き、G列の 赤枠の単価を一括コピーし閉じる	P7
9. サンプル 1ga.xlsx を開き単価欄へ コピー保存し 最小化ボタン「-」で最小化する。	P7
10. 本ソフト(tankatenki.xlsm)を開き 「3-単価転記」を実行し閉じる	P8
11. サンプル見積書(1ga.xlsx)の内訳書に 単価が転記されるので、確認し保存する	P9

2. 本ソフト(tankatenki.xlsm又はtankatenki-s.xlsm)を開く (処理画面)

図2

The screenshot shows the main processing screen of the tankatenki software. It includes a title bar with 'tankatenki.xlsm' and 'ver 5.6'. The interface is divided into several sections: a top section for file and sheet selection, a middle section for inputting data (number of sheets, sheet names, etc.), and a bottom section for output settings. A 'リセット' (Reset) button is located on the right. The interface is in Japanese and includes various labels and buttons for navigating through the software's functions.

3. サンプル書式データ 1a.txt を開く

(添付メモ帳)

図3

The screenshot shows a text editor window titled '1a.txt - メモ帳'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '書式(O)', '表示(V)', and 'ヘルプ(H)'. The main text area displays the sample data for the 1a.txt file, which is used for testing the software's functionality.

①ファイル名 1ga.xlsx

②ページ行数 44

③見出し行数 3

④タイプ 1

⑤名称行 1

⑥名称列 3 (C列)

⑦摘要行 1

⑧摘要列 4 (D列)

⑨数量行 1

⑩数量列 5 (E列)

⑪単位行 1

⑫単位列 6 (F列)

⑬単価行 1

⑭単価列 7 (G列)

⑮金額行 1

⑯金額列 8 (H列)

本ソフトの処理画面(図2)の①～⑯に上記の各設定値を入力します。

①はファイル名 1ga.xlsx (拡張子含む)を入力します。

②～⑯はそれぞれ右側赤枠の半角英数字を入力します。

④タイプは「1」が1行タイプ内訳書、「2」が2行タイプ内訳書、「3」が3行タイプ内訳書です。

4. 書式データの入力

(書式データ入力後の処理画面)

図4

A		B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	エクセル内訳書の単価表を作成するプログラム			フリーソフト版	tankatenkixism		ver.5.6		2025/2/11			
2				全額集計	<input type="radio"/> on		内訳書の書式データ		④ 書式タイプ	1		
3				計算式設定 Int(A*B)	<input checked="" type="radio"/> off		② ページ ③ 見出し		⑤ 名称 行	1		
4				*max 試用版 10シート シェアウェア 200シート			行数 行数		⑥ 名称 列	3	C	
5				*max 5000単価項目			44 3		⑦ 摘要 行	1		
6	① 処理対象ファイル名			選択されたシート数	シート選択		単価表作成		⑧ 摘要 列	4	D	
7	1ea.xlsx						単価項目数		⑨ 数量 行	1		
8	全シート数								⑩ 数量 列	5	E	
9	シート名			シート選択	内訳書のシート名		開始ページ		⑪ 単位 行	1		
10				↓			終了ページ		⑫ 単位 列	6	F	
11									⑬ 単位 行	1		
12									⑭ 単位 列	7	G	
13									⑮ 金額 行	1		
14									⑯ 金額 列	8	H	
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
22												

リセット
 1-シート名取得
 2-単価表作成
 3-単価 転記

* 入力した書式データにミスがある場合、内訳書の単価項目が単価表に正しく反映されませんので、細心の注意が必要です。エラー時には最初に確認して下さい。

5. シート名取得

(1-シート名取得ボタン実行後の処理画面)

図5

A		B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	エクセル内訳書の単価表を作成するプログラム			フリーソフト版	tankatenkixism		ver.5.6		2025/2/11			
2				全額集計	<input type="radio"/> on		内訳書の書式データ		④ 書式タイプ	1		
3				計算式設定 Int(A*B)	<input checked="" type="radio"/> off		② ページ ③ 見出し		⑤ 名称 行	1		
4				*max 試用版 10シート シェアウェア 200シート			行数 行数		⑥ 名称 列	3	C	
5				*max 5000単価項目			44 3		⑦ 摘要 行	1		
6	① 処理対象ファイル名			選択されたシート数	シート選択		単価表作成		⑧ 摘要 列	4	D	
7	1ea.xlsx						単価項目数		⑨ 数量 行	1		
8	全シート数								⑩ 数量 列	5	E	
9	シート名			シート選択	内訳書のシート名		開始ページ		⑪ 単位 行	1		
10				↓			終了ページ		⑫ 単位 列	6	F	
11									⑬ 単位 行	1		
12									⑭ 単位 列	7	G	
13									⑮ 金額 行	1		
14									⑯ 金額 列	8	H	
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
22												

リセット
 1-シート名取得
 2-単価表作成
 3-単価 転記

図5の右下の「1-シート名取得」ボタンを押すと単価表、作業ファイルが追加され3仕訳書(総括)～17内訳書(備品処理)まで全シート名がリストアップされます。

6. シート選択

(シート選択セルをダブルクリック)

図6

A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L	
1	エクセル内訳書の単価表を作成するプログラム																						
2	フリーソフト版 tankatenkixism ver.5.6 2025/2/11																						
3	全額集計 計算式設定 Int(A*B) <input type="radio"/> on <input checked="" type="radio"/> off																						
4	*max 試用版 18シート シェアウェア 200シート																						
5	*max 6000単価項目																						
6	① 処理対象ファイル名		1ga.xlsx		ok		選択されたシート数		7		シート選択		単価表作成		単価項目数		④ 書式データ		1				
7	全シート数		17				内訳書のシート名		ページ数		開始ページ		終了ページ				⑤ 名称 行		1				
8	シート名		シート選択		↓		内訳書(共通)		4		1		4				⑥ 名称 列		3		C		
9	単価表		作業ファイル				内訳書(解体)		6		1		6				⑦ 摘要 行		1				
10	作業ファイル		仕訳書(総括)				内訳書(解体)		6		1		6				⑧ 摘要 列		4		D		
11	仕訳書(総括)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑨ 数量 行		1				
12	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑩ 数量 列		5		E		
13	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑪ 単位 行		1				
14	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑫ 単位 列		6		F		
15	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑬ 単位 行		1				
16	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑭ 単位 列		7		G		
17	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑮ 金額 行		1				
18	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6				⑯ 金額 列		8		H		
19	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
20	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
21	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
22	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
23	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
24	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
25	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
26	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
27	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
28	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
29	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
30	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										
31	仕訳書(共通)		仕訳書(共通)				内訳書(解体)		6		1		6										

図6のC列12行以降のセルをダブルクリックすると○印が付加され、処理対象のシートとして選択され、右側の欄にシート名とページ数が自動的に記載されます。
 処理対象シートは通常、内訳書、細目内訳書、内訳明細書、別紙明細書等と呼ばれ、見積項目名称、摘要(又は規格、サイズ・寸法、形状等)、数量、単位単価及び金額の各欄が記載されているシートです。
 本サンプル1ga.xlsxでは「内訳書」と名称のついたシートです。

本サンプルはシート数17です。フリーソフト版はシート数に制限があり、単価表、作業ファイル含めmax18シートです。シェアウェア版はmax200シートで余裕があるので必要な方はシェアウェア版をお求めください。

F8セルに「ok」表示がでて、必要なシートの選択が済んだら次ステップに進みます。(○印のついてないシートは処理対象外です。○印を取り消す場合はもう一度ダブルクリックしてください。)

7. 単価表の自動作成

図6で右下2番目の「2-単価表作成」ボタンを押すと、処理が開始されます。およそ1分くらいでメッセージがでて、図7の単価表ができます。

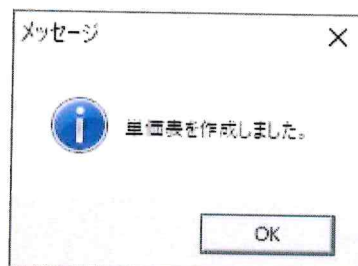


図7は選択シートから単価項目(531個)が自動的にリストアップされた表です。実業務で本ソフトを使用する場合、G列に手作業で単価を入力します。

(2-単価表作成実行後の単価表、赤枠の単価欄は空白) 図7

	A	B	C	D	E	F	G	H
		名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価		
1								532
2		仮囲い	設置費 仮囲鉄板 H=2.0m	99	m			
3		仮囲い	供用1日賃料 修理費含む 仮囲鉄板	99	m			
4		仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m	99	m			
5		仮囲い	撤去費 仮囲鉄板 H=2.0m	99	m			
6		仮囲い運搬	H=2.0m	99	m			
7		クロスゲート	幅5.0m引き分け 基本料 設置費	1	箇所			
8		クロスゲート	幅5.0m引き分け リース料	170	日			
9		土のう積み ビニールシート掛	W600,5袋 設置費(4450)	162	m			
10		土のう積み ビニールシート掛	W600,3袋 設置費(4300)	36.9	m			
11		金場	1,500×1,500(φ50円)含む	1	箇所			
12		ハーロー新設	5,000×5,500×厚100~600	1	箇所			
13		交通誘導員		170	日			
14		枠組本足場(手すり先行方)	建枠 900×1700 布枠500+240掛払い	356	m2			
15		枠組本足場(手すり先行方)	建枠 900×1700 布枠500+240供用1日	356	m2			
16		枠組本足場(手すり先行方)	建枠 900×1700 布枠500+240基本料	356	m2			
17		枠組本足場(手すり先行方)	建枠 900×1700 布枠500+240掛払い	2262	m2			
18		枠組本足場(手すり先行方)	建枠 900×1700 布枠500+240供用1日	2262	m2			
19		枠組本足場(手すり先行方)	建枠 900×1700 布枠500+240基本料	2262	m2			
20		安全手すり(手すり先行方)	枠組本足場用 掛払い手間	188	m			
21		安全手すり(手すり先行方)	枠組本足場用供用1日賃料 修理費含む	188	m			
22		安全手すり(手すり先行方)	枠組本足場用 基本料 修理費含む	188	m			
23		防音シート張り	防炎処理	2618	m2			
24		内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場階高4.0m以下	2612	m2			
25		内部仕上足場	供用1日賃料 修理費含む脚立足場 階	2612	m2			
26		内部仕上足場	基本料 修理費含む脚立足場 階高4.0m	2612	m2			
27		内部仕上足場(手すり先行)	掛払い手間 枠組欄足場階高4.0m超5.0m	139	m2			
28		内部仕上足場(手すり先行)	供用1日賃料 修理費含む 枠組欄足場	139	m2			
29		内部仕上足場(手すり先行)	基本料 修理費含む 枠組欄足場 階高4.0m	139	m2			
30		内部仕上足場(手すり先行)	掛払い手間 枠組欄足場階高5.7m超7.4m	82.2	m2			
31		内部仕上足場(手すり先行)	供用1日賃料 修理費含む 枠組欄足場	82.2	m2			
32		内部仕上足場(手すり先行)	基本料 修理費含む 枠組欄足場 階高5.0m	82.2	m2			
33		仮設材運搬(枠組本足場)	(建枠幅900)	2618	m2			
34		仮設材運搬(安全手すり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	188	m			
35		仮設材運搬(内部仕上足場)	4階 解体用	2612	m2			
36		仮設材運搬(内部仕上足場)	(手すり先行方式)階高4.0m超5.0m未満	139	m2			
37		仮設材運搬(内部仕上足場)	(手すり先行方式)階高5.7m超7.4m未満	82.2	m2			
38		仮設材運搬(シート・ネット類)		2618	m2			
39		コンクリートとりこわし	RO造 基礎部圧砕機・7レカ併用 標準	759	m3			
40		コンクリートとりこわし	RO造 地上部 圧砕機 標準	1710	m3			
41		OB積みとりこわし	コンクリート7レカ 集積共	248	m3			
42		鉄筋切断	集積共	2444	m3			
43		コンクリート類集積、破込み	機械	2444	m3			
44		とりこわし機械運搬費(ベ-	排出ガス対策型 油圧式クローラ型 0.8m3	1	往復			
45		散水費		1253	m2			
46		外装材とりこわし	壁下地(LGS)集積共	77.5	m2			
47		外装材とりこわし	厚0.8 鉄板 集積共	77.5	m2			
48		外装材とりこわし	天井下地(野縁組)ボード別途 集積共	124	m2			
49		外装材とりこわし	天井下地(LGS)ボード別途 集積共	308	m2			
50		外装材とりこわし	天井アルミバドル集積共	110	m2			
51		外装材とりこわし	ト7ライト 1300×1300集積共	2	箇所			
52		外装材とりこわし	鉄骨スローア 集積共	0.6	t			
53		内装材とりこわし	壁セラフアック 集積共	55.2	m2			
54		内装材とりこわし	木造床組 集積共	201	m2			
55		内装材とりこわし	150角タイル 集積共	139	m			
56		内装材とりこわし	400角タイル 集積共	36	m			
57		内装材とりこわし	ビニール床シート集積共	1824	m2			

8. 単価入力

同梱のサンプル単価 1a.xlsx を開き、図8-1のG列赤枠の部分を選択コピーし
サンプル見積書の単価表(図7)のG列単価欄へ値を入力(貼り付け)して下さい。

図8-1

A	B	C	D	E	F	G	H
1	名 称	規 定	単 位	単 価			532
2	仮囲い	鉄造鉄板 H=2.0m	89	m	3,500		
3	仮囲い	側面(白鉄板) 仮理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2	89	m	810		
4	仮囲い	基本料 仮理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm	89	m	300		
5	仮囲い	基本料 仮理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m	89	m	1,700		
6	仮囲い(運搬)	H=2.0m	89	m	500		
7	クロスゲート	幅5.0m(引き分け) 基本料 設置費	1	箇所	60,000		
8	クロスゲート	幅5.0m(引き分け) リール式	170	日	650		
9	土のう積み ビーム(1)掘削	W500.3掘 設置費(4450)	16.2	m	4,000		
10	土のう積み ビーム(1)掘削	W500.3掘 設置費(4000)	26.8	m	3,000		
11	現場	1,500×1,500(φ 500×700 等)	1	箇所	60,000		
12	ハローロー	5,000×5,500×厚100~400	1	箇所	160,000		
13	交通誘導員		170	日	11,000		
14	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	356	m ²	1,510		
15	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	356	m ²	810		
16	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	356	m ²	390		
17	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	2262	m ²	1,640		
18	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	2262	m ²	810		
19	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	2262	m ²	380		
20	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	370		
21	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	360		
22	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	110		
23	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	2612	m ²	880		
24	内脚柱上足場	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	2612	m ²	470		
25	内脚柱上足場	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	2612	m ²	910		
26	内脚柱上足場	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	139	m ²	3,360		
27	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	139	m ²	1,380		
28	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	139	m ²	480		
29	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	812	m ²	3,800		
30	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	812	m ²	1,710		
31	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	812	m ²	640		
32	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	2612	m ²	990		
33	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	70		
34	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	60		
35	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	139	m ²	600		
36	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	812	m ²	740		
37	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	2612	m ²	7		
38	コンクリートとにわし	RQ造 基礎部分(鉄骨・コンクリート) 側面 標準	759	m ³	3,600		
39	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1710	m ³	3,000		
40	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	248	m ³	2,000		
41	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	2484	m ³	800		
42	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	2484	m ³	800		
43	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1	箇所	60,000		
44	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1283	m ³	700		
45	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	77.5	m ²	500		
46	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	77.5	m ²	1,000		
47	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	124	m ²	400		
48	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	208	m ²	600		
49	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	110	m ²	800		
50	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	2	箇所	1,500		
51	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	0.6	t	70,000		
52	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	55.2	m ²	1,100		
53	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	501	m ²	800		
54	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	129	m	1,000		
55	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	25	m	1,000		
56	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1824	m ²	400		
57	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準					

単価欄の入力が済んだら(図8-2)、一旦サンプルファイル 1ga.xlsx を保存して
下さい。そして、右上の最小化ボタン「-」で最小化して下さい

図8-2

A	B	C	D	E	F	G	H
1	名 称	規 定	単 位	単 価			532
2	仮囲い	鉄造鉄板 H=2.0m	89	m	3,500		
3	仮囲い	側面(白鉄板) 仮理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2	89	m	810		
4	仮囲い	基本料 仮理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm	89	m	300		
5	仮囲い	基本料 仮理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m	89	m	1,700		
6	仮囲い(運搬)	H=2.0m	89	m	500		
7	クロスゲート	幅5.0m(引き分け) 基本料 設置費	1	箇所	60,000		
8	クロスゲート	幅5.0m(引き分け) リール式	170	日	650		
9	土のう積み ビーム(1)掘削	W500.3掘 設置費(4450)	16.2	m	4,000		
10	土のう積み ビーム(1)掘削	W500.3掘 設置費(4000)	26.8	m	3,000		
11	現場	1,500×1,500(φ 500×700 等)	1	箇所	60,000		
12	ハローロー	5,000×5,500×厚100~400	1	箇所	160,000		
13	交通誘導員		170	日	11,000		
14	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	356	m ²	1,510		
15	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	356	m ²	810		
16	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	356	m ²	390		
17	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	2262	m ²	1,640		
18	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	2262	m ²	810		
19	待機本足場(枠)より先行方	待機 300×1700 等持500×240(側面)1日 12m未満	2262	m ²	380		
20	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	370		
21	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	360		
22	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	110		
23	安全手すり(枠)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	2612	m ²	880		
24	内脚柱上足場	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	2612	m ²	470		
25	内脚柱上足場	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	2612	m ²	910		
26	内脚柱上足場	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	139	m ²	3,360		
27	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	139	m ²	1,380		
28	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	139	m ²	480		
29	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	812	m ²	3,800		
30	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	812	m ²	1,710		
31	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	812	m ²	640		
32	内脚柱上足場(枠)より先行方	側面(白鉄板) 仮理費含む 側面(白鉄板) 高さ4.0m以下	2612	m ²	990		
33	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	70		
34	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	188	m	60		
35	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	139	m ²	600		
36	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	812	m ²	740		
37	仮設材運搬(待機本足場)より先行方	待機本足場用側面(白鉄板) 仮理費含む	2612	m ²	7		
38	コンクリートとにわし	RQ造 基礎部分(鉄骨・コンクリート) 側面 標準	759	m ³	3,600		
39	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1710	m ³	3,000		
40	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	248	m ³	2,000		
41	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	2484	m ³	800		
42	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	2484	m ³	800		
43	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1	箇所	60,000		
44	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1283	m ³	700		
45	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	77.5	m ²	500		
46	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	77.5	m ²	1,000		
47	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	124	m ²	400		
48	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	208	m ²	600		
49	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	110	m ²	800		
50	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	2	箇所	1,500		
51	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	0.6	t	70,000		
52	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	55.2	m ²	1,100		
53	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	501	m ²	800		
54	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	129	m	1,000		
55	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	25	m	1,000		
56	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準	1824	m ²	400		
57	コンクリートとにわし	RQ造 地上部 圧縮機 標準					

9. 単価の自動転記

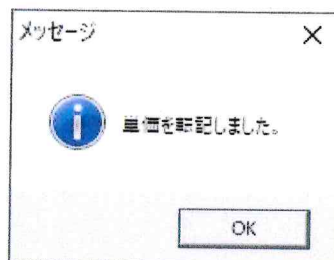
本ソフトを再び開き、図9の右下の「3-単価転記」ボタンを押すと数秒で全ての単価が内訳書へ転記されます。

(3-単価転記実行ボタン)

図9

A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L	
エクセル内訳書の単価表を作成するプログラム																							
フリーソフト版 tankatenkixism ver.5.6 2025/2/11																							
全額集計 計算式設定 Int(A*B) <input type="radio"/> on <input checked="" type="radio"/> off																							
① 処理対象ファイル名 1ga.xlsx																							
② ページ 44																							
③ 見出し 行数 3																							
④ 書式列 1																							
⑤ 名称 行 1																							
⑥ 名称 列 3																							
⑦ 挿入 行 1																							
⑧ 挿入 列 4																							
⑨ 数量 行 1																							
⑩ 数量 列 5																							
⑪ 単位 行 1																							
⑫ 単位 列 6																							
⑬ 単価 行 1																							
⑭ 単価 列 7																							
⑮ 金額 行 1																							
⑯ 金額 列 8																							
リセット																							
1-シート名取得																							
2-単価表作成																							
3-単価 転記																							

下記のメッセージが表示されるので、サンプルファイル 1ga.xlsx を保存します。



参考1 仮に全単価を100として実行してみる。

実業務で単価を入力する前に、全単価を仮に“100”として単価欄に入力し、転記してみます。

それによって、処理が正常か、小計、合計等の計算式にミスがないかどうかをチェックことができます。例えば、全額集計で直接工事費を算出し比較する等です。

参考2 単価を元の空白に戻す

サンプル見積書の内訳書を元の単価空白の状態に戻したい時は、図8-2の単価欄を選択してマウス右クリックで「数式と値のクリア(N)」を実行し空白にして、再度、単価転記してください。全ての内訳書の単価が空白になります。

この操作で上記参考1と組み合わせて、処理の再現性を確認することができます。

なお、全ての単価を空白にする前に、一旦、余白部分にコピーして退避させ、再使用に備えておくくと便利です。

10. 単価転記後の内訳書

単価・金額欄に金額が表示されました。

サンプル見積書(1ga.xlsx)

図10

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	〇〇〇〇建物解体工事								
2	内 訳 書								
3	N0	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
4	1	共通仮設工事(積み上げ)							
5									
6		仮囲い	設置費 仮囲鉄板 H=2.0m	99.0	m	3,200	316,800		
7		仮囲い	供用1日賃料 砂防費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm W=500 塗装無し	99.0	m	810	80,190	90日	
8		仮囲い	底不材 砂防費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm W=500 塗装無し	99.0	m	300	29,700		
9		仮囲い	撤去費 仮囲鉄板 H=2.0m	99.0	m	1,700	168,300		
10		仮囲い運搬	H=2.0m	99.0	m	500	49,500		
11		クロスゲート	幅5.0m引き分け 基本料 設置費	1	箇所	80,000	80,000		
12		クロスゲート	幅5.0m引き分け リース料	170	日	650	110,500		
13		土のう積み ビニールシート掛け	¥800,5袋 設置費(H450)	16.2	m	4,000	64,800		
14		土のう積み ビニールシート掛け	¥800,3袋 設置費(H300)	36.9	m	3,000	110,700		
15		釜場	1,500×1,500(φ50※ノブ含む)	1	箇所	60,000	60,000		
16		ハーロー新設	5,000×5,500×厚100~600	1	箇所	160,000	160,000		
17		交通誘導員		170	日	11,000	1,870,000		
18									
19									
20									

11. その他のサンプル内訳書について

1行タイプサンプル 1ga.xlsx の他に次のようなサンプル見積書等を用意しています。

- 1行タイプサンプル 1gb.xlsx、サンプル書式データ(1b.txt)、サンプル単価(1b.xlsx)
- 2行タイプサンプル 2g.xlsx、サンプル書式データ(2.txt)、サンプル単価(2.xlsx)
- 3行タイプサンプル 3g.xlsx、サンプル書式データ(3.txt)、サンプル単価(3.xlsx)

上記のように3タイプの内訳書がありますが、入力方法は同じなのでサンプルに応じて内訳書の行や列の値を入力して下さい。

いずれのサンプルも ①ファイル名入力、②書式データ入力、③シート名取得
④シート選択、⑤単価表作成、⑥単価入力、⑦単価転記 の順序で処理します。

12. プログラムの機能と開発動機

ソフトウェアの使用環境

本ソフトは Microsoft Excel 2010 のVBAマクロソフトです。
 エクセルを「マクロ有効」にした環境でのみ使用可能です。シェアウェア版はライセンスキーで開き、Readme-s.txt記載の方法でブック保護を解除して使用します。

ソフトを開発した動機

見積業務で内訳書のシート数が比較的多く、ページ数が50～150ページ程度に達すると通常の手作業入力では時間的に負担が大きく、なんとかならないかと悩みます。そういう体験を経て、“単価項目をリストアップし、単価入力後に転記する”という発想が浮かびました。試行錯誤の末、VBAでプログラムを構築し、実現したのが本ソフトです。単価表の余白セルで単価を計算し、単価欄に入力して、内訳書へ瞬時に転記します。

プログラムの処理機能やソフトの使用上の特徴は【1】～【8】のとおりです。

【1】書式データの入力

入力する書式データはファイル名、ページ行数、見出し行数及び書式の行列データです。処理対象の内訳書の書式を指定し、コピーや転記の際の、セルの位置決め計算を可能するためのデータ入力です。サンプル内訳書から書式データがどのセルの行や列の値か理解することができます。これが本ソフトを実業務で応用するときのポイントです。

【2】見積書(エクセルブック)のシート名取得

エクセルブックのシート名と単価表及び作業ファイルの追加シート名を自動取得し、処理画面に表示します。

【3】処理対象シートの選択

見積りの明細単価項目が記載された内訳書(または細目内訳書、内訳明細書等)を処理対象とするので、該当するシートの指定セルをダブルクリックし、選択します。ダブルクリックすると○印が付与されます。キャンセルする場合は○印をもう一度ダブルクリックします。

【4】単価表の自動作成

処理対象に指定した内訳書の単価欄までのデータを、1ページずつ、作業ファイルへ値を自動コピーします。作業ファイル上で、「名称セル」と「単位セル」が空白でない行を単価項目と判定し、単価項目以外の行を自動削除します。判定された単価項目は名称覧から単価欄までをさらに自動コピーし、「単価表」シートへ順次、値を貼り付けます。最後の内訳書シートの最終ページまで、繰り返し処理してリストアップは完了します。リストアップ後、単価表の重複項目を自動で削除します。同じ名称、同じ摘要、同じ単位の単価項目は同じ単価という前提で、重複項目を1個だけ残し、他は削除します。

【5】単価の入力

本ソフトでは単価データの提供はしません。実際にお使いになる場合は使用者ご自身で単価を決めて入力して下さい。
 サンプル見積書については便宜的にサンプル単価を用意し添付しました。

【6】単価の自動転記

単価表には内訳書と同じ「名称」、「規格、摘要、サイズ形状」、「単位」が記載されます。単価表のこの3項目データと内訳書の3項目データを照合・判定し、一致した場合にのみ単価を内訳書へ転記します、微小な違いでも判別して転記処理します。
 転記速度は速く、処理画面の「単価転記」コマンドボタンで実行してみると、1000個程の単価を僅か数秒で内訳書へ転記しますので、作業時間を大幅に短縮できるのです。

【7】単価表の余白活用

単価表(エクセルシート)の単価欄の右側は余白になっているので、単価の算出計算や単価調整やコメントの記入等、様々な活用できるメリットがあります。
 提出用の内訳書部分には一切、文言やデータを書き込む必要はありません。
 また、使用者の作業領域として保存できますので、後日、参照するのに便利です。

【8】見積書の客先等への提出

書式が正常で、内訳書の修正・文言の追加訂正がない場合、本ソフトで処理した見積書は単価表シートと作業ファイルの追加2シートを削除し、元のファイル名で保存すれば、そのまま客先へ提出可能です。書式や文言の修正・追加があった場合は、復元するか否かに応じて、部分的に手作業による修正が必要になるかもしれません。

13. 使用に当たっての注意事項（エラー回避等）

【1】ファイル名单純化

入札用に見積書等を受け取って処理を始める前に、元ファイルを別名で保存しましょう。「名前を付けて保存」操作で、「abc.xlsx」など単純なファイル名で保存し、それを使用するようお勧めします。

なぜなら日本語ファイル名では判別にエラーが出やすく、「ファイルが開いていません」とか、「ファイル名が一致しません」等、初期段階でエラーが頻発するのを防ぐためです。

【2】書式の統一性

本ソフトでは、内訳書の書式は始終一貫して同一書式であることを前提にしています。第三者から与えられた見積書は必ずしもコンピューター処理を前提に作成されているとは限りません。したがって、事前チェックは欠かせません。書式が統一されていない見積書はやむを得ず書式に変更を加えたり、単価名称等に文言を補足したりして、プログラム処理上エラーが出ないようにしなければなりません。例えば、ページ行数が他と違うページがある。数量・単位・単価の順序が他と違うページがある等です。

【3】内訳書の単価項目の判定

見出し行より下の行について、内訳書の1～3行タイプの行数毎に区切って、データを読み込みます。

「名称セル」と「単位セル」両方が同時に空白でない場合に限り単価項目と判定します。例えば単位セルが空白である行は単価項目ではないと判定するので、リストアップされません。

【4】非表示シートの削除

内訳書に非表示シートがあるとエラーになります。削除することをお勧めします。

【5】計算式設定・全額集計

セレクトボタンを「off」から「on」へ切り替えて、計算式設定ボタンを押下して下さい。金額欄に設定できる計算式は下記の1種類です。（変更にはプログラム修正が必要）

金額＝Int(数量×単価)・・・少数点以下切り捨て

元の内訳書の金額欄に計算式が設定されている場合は、そのままにして置きましょう。上記同様な操作で「全額集計」することができます。これは全項目について、数量×単価＝金額を計算・集計します。見積書に集計ミスがないか検算に活用できます。

【6】フリーソフト版の変更・加工・転用の禁止

本ソフトの著作権は作者の okisky にあります。フリーソフト版は変更・加工・転用を禁止致します。ダウンロードした状態でのご使用をお願い致します。なお、マクロ編集、ソフト変更・転用等、制限なく自由に使えるシェアウェア版をVectorで公開していますので、必要な方はお求め願います。

【7】不正競争防止法に関して

このソフトウェアは、技術的制限手段が施された著作物のリッピング等、改正不正競争防止法で定められた違法行為に抵触するものではありません。

14. 免責事項

本ソフトウェアを使用したことによる、いかなる損害についても、作者は責任を負いません。使用者の責任でお使い下さい。

本ソフトへの質問は「Readme.txt」の冒頭記載のメール宛てでお願い致します。